

令和 8 年度第 1 回船橋市商工業戦略プラン推進会議 議事録

開催日時：令和 8 年 7 月 29 日（水） 午後 3 時 00 分

開催場所：船橋市役所本庁舎 10 階 中会議室

出席者：委員長	手 嶋 進	千葉商科大学 教授
副委員長	市 原 保 紀	船橋市経済部 部長
委員	加 藤 和 彦	千葉工業大学 教授
	平 田 杏 子	船橋商工会議所 常議員
	大 塚 智 明	船橋市商店会連合会 副会長
	大 原 俊 弘	船橋市地域工業団体連合会 会長
	岡 直 樹	船橋市観光協会 専務理事
	今 井 和 夫	千葉県中小企業診断士協会 理事
	鈴 木 幸 雄	船橋市企画財政部 部長

（欠席）

小笠原 永隆	帝京大学 教授
志 波 正 彦	船橋大型店連絡協議会 会長
阿 部 健 一	千葉県産業振興センター 参事兼企画調整課長

事務局	経済部商工振興課	真田課長、板谷課長補佐、大原課長補佐、 深井商業係長、宮田工業係長、 原田観光プロモーション係長、 住吉プロ・企業スポーツ連携推進係長、 森主任主事
-----	----------	--

○事務局

第 1 回船橋市商工業戦略プラン推進会議を開会いたします。

はじめに、本日配布いたしました資料の確認をお願いいたします。

- ①船橋市商工業戦略プラン推進会議名簿
- ②船橋市商工業戦略プラン推進会議設置要綱
- ③船橋市商工業戦略プラン基本戦略に基づく関連事業・関連取組
- ④船橋市商工業戦略プラン進捗管理シート（案）

配布資料は以上でございます。過不足はございませんでしょうか。

続きまして、本推進会議の位置づけについてご説明いたします。

令和 8 年 3 月に、令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間を計画期間とする「船橋市商工業戦略プラン」を策定いたしました。

本戦略プランでは、10 年後の将来像として『BRIDGE for NEXT STAGE ふなばし ～持続可能な産業都市を目指して～』を掲げております。

この将来像を実現するためには、市内事業者の皆様をはじめ、商工会議所、業界団体、市民、大学、そして行政といった「すべての関係主体」がビジョンを共有し、主体的に連携していくことが不可欠です。その中で船橋市は、組織間の調整や環境整備、施策の推進という役割を担ってまいります。

推進会議は、戦略プランの趣旨に基づき、船橋市の商工業が持続的な発展を遂げられるよう、各事業の効果的・効率的な進捗管理、および全体の調整を行っていただく場として位置づけております。

委員の皆様におかれましては、専門的な知見や実際の現場での経験などを活かして、積極的に議論いただければと考えております。

なお、事務局として経済部商工振興課の職員が出席しております。

続きまして、「委員長及び副委員長の選出」に移らせていただきます。

船橋市商工業戦略プラン推進会議設置要綱の第 3 条第 2 項にて、「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」としております。

初めに、委員長を互選にて決定したいと思います。委員長のご推薦がございましたら、お願いいたします。

【市原委員挙手】

市原委員、お願いいたします。

○市原委員

私からは、手嶋委員を推薦いたします。

手嶋委員には、前身である策定委員会において委員長を務めていただき、委員会運営を取りまとめながら、本プランの策定にご尽力をいただきました。

また、策定の経緯や各施策の考え方を深くご理解いただいていることに加え、大学や民間企業において経営や事業戦略に携わってこられた豊富な知識と経験をお持ちです。

そのため、手嶋委員が適任だと思いますのでご推薦いたします。

○事務局

ただいま、委員長には手嶋委員をとのご発言がありました。

ほかの方をご推薦する方はいらっしゃいますか。

【他の推薦なし】

いらっしゃらないようですので、手嶋委員を委員長に選任することに決定いたします。

次に、副委員長を互選にて決定したいと思います。副委員長のご推薦がございましたらお願いいたします。

【大塚委員挙手】

大塚委員、お願いいたします。

○大塚委員

私からは、市原委員を推薦いたします。

市原委員は、市職員として商工業の振興に関する豊富な経験と知識を有し、地域経済の発展に寄与する戦略的視点を持っているため、市原委員が適任だと思いますのでご推薦いたします。

○事務局

ただいま、副委員長には市原委員をとのご発言がありました。

ほかの方をご推薦する方はいらっしゃいますか。

【他の推薦なし】

いらっしゃらないようですので、市原委員を副委員長に選任することに決定いたします。

それでは、委員長に就任されました手嶋委員長より、ご挨拶をいただきます。

○手嶋委員長

委員長を務めさせていただく手嶋です。商工業戦略プラン策定委員会に引き続き推進会議にも携われること大変感謝しております。

プラン策定時にも確認しましたが、船橋市は多様な要素を持っていることそれ自体が強みでもあり、プランの実行時においては同時に複雑性を含みますので、多岐にわたる施策をうまく実行させていかなければならないと思います。引き続き委員の皆様と一緒にプランの進捗状況を確認し、何かあれば皆様と良いアイデアを出して貢献していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございます。続きまして、市原副委員長より、ご挨拶をいただきます。

○市原副委員長

副委員長を務めさせていただく市原です。振り返れば商工振興課長として３年、経済部長として５年、概ね８年商工業戦略に携わっております。前回のプランの前期部分、そして後期戦略の策定にも携わっております。今回は副委員長として、手嶋委員長を補佐し、実りある会議にしていきたいと考えておりますので、皆様ご協力をお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。それでは、以後の議事進行を手嶋委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○手嶋委員長

議事に入る前に、会議の公開非公開に関する事項について皆さまにお諮りいたします。この件につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局

「船橋市情報公開条例」及び「船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱」に基づき、会議の概要及び議事録を原則として公開とさせていただいております。また、本日の会議につきましては、傍聴者の定員を５名とし、事前に市のホームページにおいて、開催することを公表いたしました。傍聴者がいる場合には「公開事由の審議」の後に入場していただきます。

当会議につきましては「個人情報等がある場合」また、「公にすることにより、率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合」などを除き、原則として公開することとなっております。また、議事録については発言者、発言内容も含め全てホームページ等で公開されます。

本日の議題については、個人情報等は含まれておりません。また、率直な意見の交換、もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれは無いものとして、公開として差し支えないものと考えます。

○手嶋委員長

説明のとおりですので、この会議は公開とし、会議の議論の内容によって、非公開の事由にあたるおそれがあると判断した場合は、改めて皆様にお諮りするものとさせていただきたいと思います。皆さまいかがでしょうか。

【異議なし】

ご異議がないものと認めまして、本日の会議は公開といたします。

本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。

○事務局

本日は傍聴の希望者が2名おります。

○手嶋委員長

それでは傍聴人に入室いただいでください。

【傍聴人着席】

○手嶋委員長

傍聴者にお伝えいたします。お渡ししてある注意事項を守って傍聴されるよう、お願いします。

それでは、議題に移ります。戦略プランの進捗管理について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、戦略プランの進捗管理についてご説明いたします。お手元の資料の「船橋市商工業戦略プラン基本戦略に基づく関連事業・関連取組」をご覧ください。

こちらの資料では、表の左から、本戦略プランで定めた「8つの基本戦略」、それに基づく「施策」、そして、その施策に紐づく本市で実施している「取組事業」、「所管係」、「備考」を記載しております。現時点では既に実施している継続事業がほとんどとなっておりますが、今後、本戦略プランに基づき新規で実施して行く事業の内容などがある程度固まった場合は、この取組事業欄に新規事業として、随時加えていく方向でございます。

続いて、「船橋市商工業戦略プラン進捗管理シート(案)」をご覧ください。

こちらのシートは、先ほどご説明させていただいた取組事業ごとにそれぞれ作成し、事業の状況を管理して行くものになります。シートの構成としては、まず、基本戦略と施策を記載し、概要として「目的」「内容」を記載、「進捗状況」を右側の項目から選択します。

次に、成果測定については、まず評価区分を選択します。数値で把握することが可能な事業・取組については「定量評価」、数値での把握が難しい事業・取組については「定性評価」を選択します。その上で、評価指標を設定します。例えば、定量評価の場合は「〇〇件数」、定性評価の場合は「〇〇の実施」「〇〇の調査」などを評価指標として設定します。

その下には、過年度の実績に加え、当年度の目標と実績を記載します。

最後に、評価として「状況評価」を右側の項目から選択し、「分析」「今後の取組」「改善」を記載します。

このシートを令和9年3月下旬に開催予定の第2回推進会議までにすべての事業分を作成し、委員の皆様にご意見などをいただければと考えております。そのうえで、見直しが必要な事業があれば早急に検討を行ったり、新たな事業実施に向けた検討なども同時に行っていきたいと考えております。説明は以上になります。

○手嶋委員長

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見やご質問はありますか。

○今井委員

新しい事業が加わった場合には、こちらの一覧へ随時追加されるとのことですが、具体的にはどのような体制で検討されるのでしょうか。

例えば、プロジェクトチームやワーキングチームのような組織を設けて個別評価を行い、「戦略プラン上、この分野が不足しているので新たな事業を立ち上げよう」といった具体的な検討をされるのでしょうか。それとも、そのようなワーキングチームは設置せず、事務局で検討されるのでしょうか。

また、このプロセスをどのような体制で進めていくのかを教えてくださいたいと思います。3月になりますと年度末になりますし、今年度は継続事業が多いとのことですので、このままでよいのかどうかを含めた具体的な検討は、事務局で進められるという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

前回の戦略プランでは、プロジェクトチームを設置し、それぞれの施策について検討を進めておりました。前期ではそのような体制を取っていましたが、後期では設置せずに進めております。

今回の戦略プランにつきましても、現時点ではそのようなチームを設置する予定はありません。

一方で、新規事業については、既に事務局内である程度検討を進めております。また、来年度に実施したい事業については、財政部局へ予算要求を行う形で調整を進めております。3月に予定しております第2回推進会議では、新規事業の内容をこのシートへ反映した上で、皆様にご覧いただく予定です。その際に、新規事業についてご審議をいただきたいと思いますと考えております。

また、このプランに関して今後取り組みたい事項などについても報告できると思いますので、その際に推進会議の中で様々なご意見をいただければと考えております。

○手嶋委員長

「報告できることもある」というお話でしたが、それは3月を待たずに情報提供いただけるということでしょうか。

○事務局

基本的には、3月の推進会議でまとめてご報告することを考えております。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○市原副委員長

では、私から1点よろしいでしょうか。

年度末だけではなく、中間時点などで追加事業が生じた場合に、その内容を委員へ確認いただく場は必要ではないかと思います。

年度末の1回だけではなく、必要に応じて中間時点などで推進会議を招集することはお考えにならないでしょうか。

○事務局

必要に応じて対応したいと考えております。

予算が確定するタイミングなどもありますので、必要があれば会議を開催したいと考えております。

○手嶋委員長

その場合は、臨時招集という形でご連絡いただくという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

そのとおりです。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○平田委員

必要に応じて臨時開催もあり得るとのことでしたが、半年程度進んだ段階で資料を見せていただき、その時点で意見を申し上げるのは少し難しいようにも感じます。

3カ月程度で一度見せていただいた方が、こちらとしても意見を出しやすいのではないかと思います。

もちろん、頻繁に集まるのが難しいという事情もあるとは思いますが、その点はいかがでしょうか。

○事務局

3か月というスケジュールについては、事務局としても少し検討する時間をいただきたいと思います。

まずは、作成した資料をメール等で委員の皆様へお送りし、一定期間ご確認いただいた上で、必要に応じて会議を開催する方法も考えております。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○加藤委員

評価の方法についてお伺いします。評価を行う体制はどのようになっているのでしょうか。実際に事業を実施している担当部署ごとに評価するのか、それとも統一した評価体制を設けて一元的に評価するのか、そのあたりを教えていただきたいと思います。

○事務局

評価につきましては、基本的に商工振興課の事業となりますので、商工振興課で進捗管理シートを用いて評価を行う予定です。

必要に応じて関係部署の意見を聞くことはあると思いますが、基本的には商工振興課で評価を行う流れを考えております。

○加藤委員

評価を行う際の判断材料は、各担当部署から提供されるという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

各事業の実施件数や実施内容など、それぞれの実績を基に成果を確認し、評価を行うことになります。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○鈴木委員

加藤委員から評価のあり方についてご質問がありましたが、この進捗管理シートを見ると、「成果測定」の評価指標の例として「〇〇件数 〇〇の実施 〇〇の調査」などが記載されています。

しかし、実際に評価を行うのであれば、その上段にある「概要」や「目的」、「施策」と照らし合わせて、本来期待していた成果が得られたかどうかという視点で客観的な評価することが重要だと思います。単に「何件実施した」という実績だけでは、評価としてはやや弱いのではないのでしょうか。

そのため、評価のあり方については、このシートを今後ブラッシュアップしながら、より適切な評価方法を検討していただきたいと思います。

もう一点、お伺いします。次回の推進会議では、このシートに各事業の概要や評価などを盛り込んだ資料が提示されるという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

まず、評価方法につきましては、ご指摘を踏まえ、今後事務局で検討してまいります。

また、この進捗管理シートにつきましては、3月の推進会議までに、資料3「関連事業・関連取組一覧」に掲載している事業ごとに1枚ずつ作成し、委員の皆様にご確認いただく予定です。

○鈴木委員

評価につきましては、年度終了後に実績が確定して初めて評価できるものも多くあります。そのため、3月時点では十分な評価ができない項目もあるのではないかと思います。

また、臨時開催を行う場合には、既存事業の評価ではなく、新たに検討すべき事業について議論することを想定するならば、その場合は実績評価ではなく、新規事業の方向性などを中心に議論するなど、時期によって議題が変わると思います。

○手嶋委員長

現在作成を予定されている進捗管理シートは、資料3の「関連事業・関連取組一覧」の1行につき1枚作成するという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

そのとおりです。

○手嶋委員長

この進捗管理シートは年度ごとに1枚ずつ作成するという理解でよろしいでしょうか。

○事務局

年度ごとに1枚作成する予定です。

○鈴木委員

そうしますと、3月の時点で全てのシートが揃うのは難しいかもしれませんので、資料提示の時期については検討の余地があるように思います。

○手嶋委員長

この件に関連して、ほかにご意見はございますか。

○大原委員

工業分野の代表という立場から申し上げます。この進捗管理シートを見ると、行政側の活動量、例えば「何件実施した」「セミナーを開催した」「補助金を交付した」といった内容が中心になっている印象を受けます。

しかし、企業側からすると、本当に見たいのはその結果です。例えば、売上が向上した企業数、利益が改善した企業数、新規雇用につながった件数、廃業防止につながった件数、市内企業同士の取引件数の増加といったように、企業側にどのような成果が生まれたのかという視点も盛り込んでいただけると、最終的な評価がしやすくなると思います。

○手嶋委員長

資料4の「成果測定」の項目については、「何件実施した」という活動実績だけではなく、「実施した結果、どのような成果が生まれたか」という観点の指標を設定した方がよいのではないかと、という

ご意見かと思います。事務局、いかがでしょうか。

○事務局

ご指摘いただいた点については、事務局としても課題として認識していたところです。

今後、この進捗管理シートを基本としながら、成果を適切に把握できるような指標についても検討してまいりたいと考えております。

○手嶋委員長

ぜひよろしくお願いいたします。

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○大塚委員

資料3を見ると、ほとんどが継続事業になっています。その他として物価高騰対策が2件、新規事業は黄色で示された検討中の1件です。

一方で、今回の戦略プランでは観光分野が新たに加わっています。

新しい分野が加わっているにもかかわらず、資料を見る限り継続事業が中心という構成では、「新しい戦略プランになって何が変わったのか」が見えにくいのではないのでしょうか。

もちろん、これから新規事業を検討されることは理解していますが、継続事業に対して新規事業をどの程度のボリュームで盛り込んでいくことを考えているのか、その考え方を教えていただければと思います。

○事務局

本日の議題は進捗管理についてですので、新規事業の詳細資料まではご用意しておりませんが、内部では既に検討を進めております。

また、来年度に向けた新規事業については、財政部へ要望もしております。

少なくとも3月までには、商業・工業・観光・経営労政・プロ・企業スポーツなど、新たに追加された分野を含め、各担当から1~2件程度の新規事業を追加できるよう準備を進めております。3月の時点では、新たな事業も一覧に掲載できると考えております。

○手嶋委員長

大塚委員のお話は、「1~2件では少ないのではないか」という趣旨だったかと思います。

今回、新しい戦略プランを策定した以上、「これまでやっていなかったことに挑戦する」という姿勢がもっと見えてもよいのではないかというご意見ですよね。

○大塚委員

例えば、これまで3本柱だったものが4本柱になったのであれば、その分だけ新しい取組

も増えていてよいのではないかと思います。

もちろん、実際に実施できるかどうかは別問題ですが、新しいことへ積極的にチャレンジする姿勢は必要ではないかと思います。

○手嶋委員長

その点に関連してですが、資料3は、既に着手している事業を整理した資料という印象を受けます。一方で、まだ事業化には至っていないものの、現在検討中・準備中の案件もあると思います。そうしたものは資料3には載せない想定なのでしょうか。

○事務局

資料3には事業だけでなく、「取組」も掲載する予定です。

そのため、まだ事業化には至っていないものの、「現在このような取組を検討している」という内容についても掲載したいと考えています。結果として、新しい取組はもう少し増える見込みです。

○手嶋委員長

そういう意味では、既に実施している事業の進捗とは別に、「現在検討中の案件一覧」のような資料を別に作成してご報告いただく方法もあるかと思います。

○事務局

進捗管理シートには「検討中」という項目も設ける予定ですので、現在検討している案件についても積極的に一覧へ掲載していきたいと考えております。

○手嶋委員長

成果測定についてですが、先ほどご意見があったように、まず成果測定の項目を設定し、「何件実施した」「何パーセント達成した」といった数値を把握した上で、一番下の「評価」欄で「予定どおり」「やや遅れている」といった評価を行う形になると思います。

ただ、今回の戦略プランは10年間の計画ですので、事業によっては1年程度では成果が見えにくいものもあると思います。既存事業であればある程度評価できると思いますが、新規事業については、初年度から成果を評価するのは難しいケースもあるでしょう。

また、この評価は第三者評価ではなく自己評価ですよね。そうすると、「おおむね順調」と判断する基準をどこに置くのかという問題があります。プランでは、1年目、2年目、3年目といった年度ごとの到達目標までは設定されていません。

そのため、内部では例えば「3年目の目標」「5年目の目標」といった中間目標を設定することも考えられると思いますが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

○事務局

既存事業については、ある程度評価基準を設定できると思いますが、新規事業についてはご指摘のとおり難しい部分があります。

そのため、「進捗評価」の記載方法については見直しを行い、新規事業にも対応できるような表現や評価方法を検討していきたいと考えております。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○今井委員

市が単独で実施できる事業には限界があり、どうしても各団体や支援機関を通じた個社支援という形が中心になってくると思います。

重点事業については、実行力を高め、地域経済にどうお金を循環させるかが重要ですが、結局は個々の企業が元気にならなければ、市全体の活力向上にはつながりません。

そのため、市単独で取り組むだけではなく、商工会議所や事業承継・引継ぎ支援センターなど、関係機関との連携を含めた個社支援を、もっと戦略的に見える形にした方がよいのではないのでしょうか。資料3を拝見した印象では、個社支援の効果が上がるのかが少し見えにくいように感じました。

○手嶋委員長

先ほど大原委員からご指摘いただいた内容にも通じる部分があります。

市としてどのような活動を行ったかだけではなく、その結果として事業者にどのような成果が生まれたのかという、もう一段階先のアウトカムまで把握する必要があるというご意見だと思います。事務局、いかがでしょうか。

○事務局

ご指摘のとおり、現在のシートでは個々の事業の進捗管理が中心となっております。

一方で、その結果として企業にどのような効果があったのかという点は、現状では十分に把握できていない部分があります。

今後は、そのような効果も確認できるような方法について検討を進めてまいりたいと考えております。

○今井委員

支援機関との連携も含め、個社支援の事業をもう少し増やしてもよいのではないかと思います。

ます。市だけで実施するには限界がありますので、どのような機関と、どのような役割分担で連携していくのかを、特に重点施策については戦略として見える形にしていきたいと思います。

○手嶋委員長

確かに、単に「連携する」と記載するだけではなく、「どのような連携を行うのか」まで示すことが重要だと思います。そのような視点も含めてご検討いただければと思います。

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○岡委員

皆さんのお話を伺っていて、最初の説明では、委員として何を求められているのかが少し分かりにくいと感じました。

また、次回が3月ということになりますと、議会も終了し、予算もほぼ確定している時期ですので、その段階で私たちが意見を申し上げても、大きく内容を変更できるタイミングではないようにも思います。その意味では、先ほど鈴木委員がおっしゃったように、年度が終了し、十分な検証ができる4月以降に議論してもよいのではないかという印象も受けました。

一方で、お話を伺っていて感じたのは、事務局では数多くの事業を実施されており、それぞれの事業については年度ごとに評価を行うことになると思いますが、委員としては、個々の事業の細かな内容というよりも、それら全体が戦略プランの方向性に沿って進んでいるかどうかを確認する役割なのではないか、という認識を持ちました。まず、その理解でよいのか確認させていただきたいと思います。

その上で、もう少し各事業について意見を求めるということであれば、現在掲載されている事業の多くは継続事業ですので、令和7年度時点での進捗管理シートや評価結果が既に存在するのでしょうか。これまでどのように取り組み、どのような成果があり、それを踏まえて今年度も継続しているのかというスタート地点が分からなければ、現時点の内容について意見を申し上げることは難しいように感じます。

また、私は観光分野に関わっていますが、現状では船橋市の観光の実態を十分に把握できていないと感じています。例えば、市内に宿泊施設が何施設あるのか、年間宿泊者数はどれくらいか、前年・前々年と比較して増えているのか減っているのか、宿泊者はどの地域から来ているのかといった基本的なデータを把握する体制が、現状では十分ではありません。

そのため、まずは市内の観光や経済の現状を把握・分析する取組そのものを、この戦略プランの事業として位置付けていただけるとありがたいと思います。

○手嶋委員長

戦略プラン策定時には各種アンケート調査も実施しておりますので、それらも一つの基礎

データではあるという理解でよろしいですね。

また、岡委員からご指摘があったように、継続事業については令和7年度までの実績があるわけですから、新たな戦略プランが始まる時点での「現在地」、いわばスタート地点が分かる資料が必要ではないか、というご意見だったと思います。事務局、いかがでしょうか。

○事務局

現在掲載している継続事業の多くは、前戦略プランで開始した事業です。前戦略プランにおいても推進会議を開催し、各事業について評価を行っており、全体としては「おおむね順調」という評価になっております。

ただし、新しい戦略プランでは、従来の事業をそのまま継続するだけでなく、内容をブラッシュアップしていく考えです。例えば、商店街のにぎわい創出事業では、従来は商店街イベントへの支援が中心でしたが、アンケート結果などを踏まえ、学校や自治会など地域の様々な主体と連携した取組を進めたいという意見もいただいております。

そのため、前プランで実施してきた事業を、新しい戦略プランの考え方に合わせて発展させていきたいと考えております。

○手嶋委員長

そうすると、私たち委員としては、現在どの段階まで進んでいるのかが分かる資料があると議論しやすいと思います。例えば、100を目標とするのであれば、令和7年度末時点では30まで進んでいる、令和8年度末には40を目指す、10年かけて80まで目指す、といったイメージが共有できると、進捗状況も理解しやすくなるのではないのでしょうか。

○事務局

令和7年度時点の状況をどのようにお示しするかについては、事務局で検討させていただきたいと思います。その上で、令和8年度以降の進捗が分かるような形についても検討を進めてまいります。

○手嶋委員長

評価項目そのものはこの進捗管理シートと違っていてもよいと思いますが、委員の皆様がスタート地点を共有できる資料は必要だと思います。

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○加藤委員

進捗管理シートを年1回確認しながら進めていくというイメージが、まだ十分につかめていません。個々の事業ごとにシートが作成され、それぞれについて評価を行うことになる

と思いますが、それだけでは戦略プラン全体としてどの程度進捗しているのかが見えにくくなるのではないのでしょうか。戦略プラン全体を俯瞰できるような、総合的な評価シートのようなものが別にあった方がよいと感じます。個別事業だけではなく、戦略全体の進捗が分かる資料をご検討いただければと思います。

○今井委員

前回の戦略プランでも、基本戦略ごとの進捗や評価と、個別事業の評価を分けて管理していたかと思います。

○事務局

本日は個別の進捗管理シートをご説明しましたが、ご指摘のとおり、戦略プラン全体を俯瞰できるような管理方法についても検討してまいりたいと考えております。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

○平田委員

進捗管理とは少し異なる話かもしれませんが、各種セミナーについて意見があります。さまざまなセミナーを開催されていると思いますが、講師については、できるだけ船橋市内の企業にお願いする仕組みをつくっていただければと思います。例えば、講師を公募するなど、市内企業が活躍できる機会を設けることも、個社支援につながるのではないのでしょうか。

特に、重点施策であるDX推進では、ITシリーズセミナーを開催するとありますが、大手企業の事例紹介だけでは、市内の中小企業にとっては規模感が合わず、「自社には当てはまらない」と感じることも少なくありません。

そのため、市内企業にとって身近に感じられる企業や講師を選定していただけると、より効果的になるのではないかと思います。

○手嶋委員長

ほかにご質問、ご意見はございますか。

【発言なし】

それでは、本日の予定時間である1時間となりました。

本日、委員の皆様からいただきました意見につきましては、事務局において検討いただき、必要に応じて、進捗管理シートや管理方法の見直しをお願いしたいと思います。

また、戦略プラン全体の進捗状況が分かる資料の作成や、今後の会議の開催時期・進め方につきましても、ご検討いただければと思います。臨時開催の必要性につきましては、状況を見ながら判断いただくことになると思います。

その他の細かな進め方につきましては、委員長と副委員長で事務局と相談しながら進めていきたいと思いますので、その点については、委員長に一旦預からせていただいてもよろしいでしょうか。

【異議なし】

ありがとうございます。

それでは、本日の議題はすべて終了いたしました。

最後に、「その他、連絡事項」について事務局よりお願いします。

○事務局

本日は、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。まだ荒削りな部分もありますので、今後、いただいたご意見を踏まえて内容を具体化し、実現していきたいと考えております。

本日いただいたご意見を今後どのように反映していくかについて、事務局や担当部署で検討し、できるだけ早い段階で皆様にお示しできればと考えております。

また、管理シートにつきましても、本日いただいたご意見を整理した上で、今後どのように進めていくかを検討したいと考えております。次回の会議を開催するのか、あるいは管理シートを修正した上で皆様にお送りし、ご確認いただく形とするのかについても、併せて検討してまいります。

以上を持ちまして、第1回船橋市商工業戦略プラン推進会議を終了いたします。

ありがとうございました。

以 上